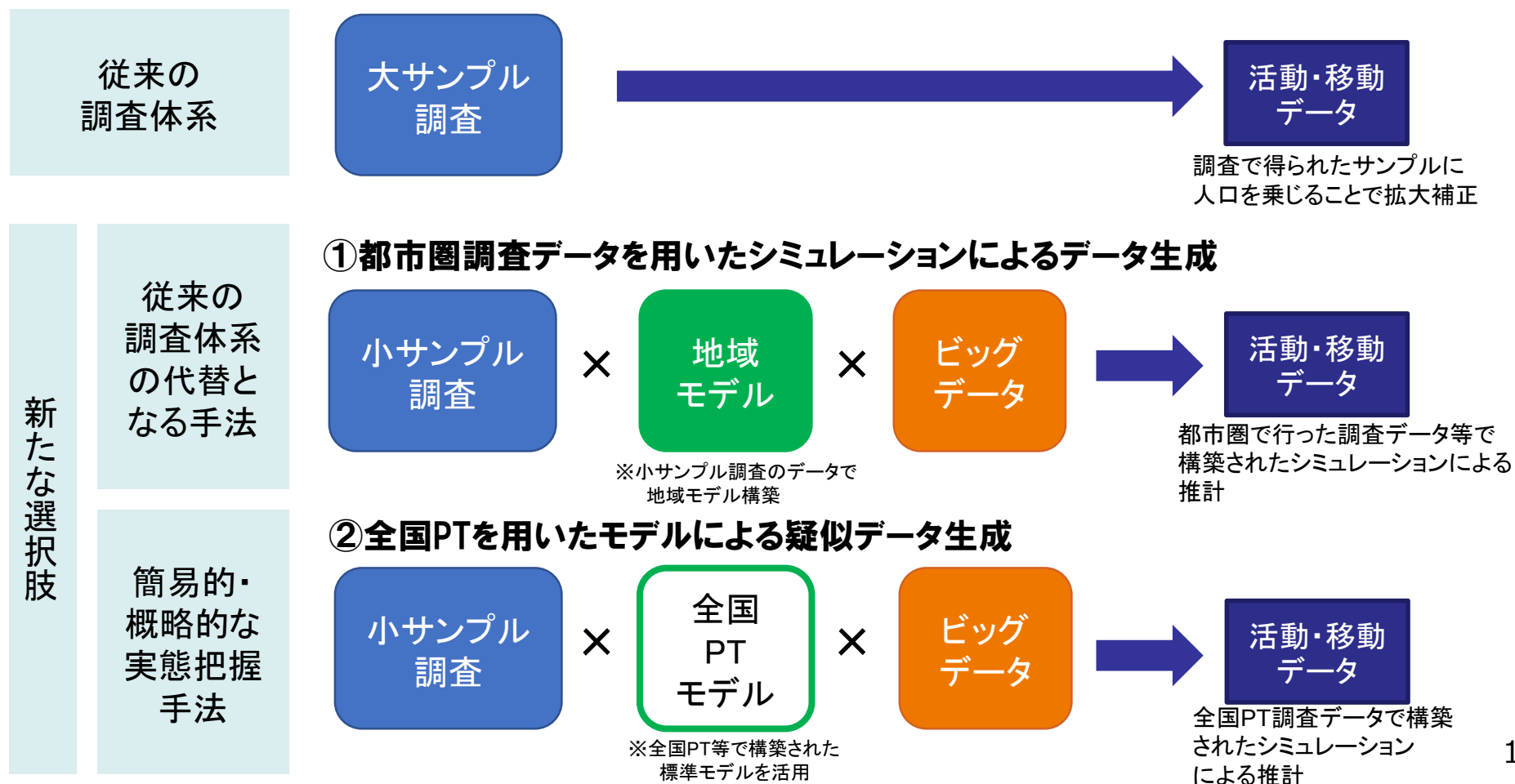


都市交通調査の効率化・高度化 に向けた取組

国土交通省 都市局
都市計画課 都市計画調査室
令和4年4月

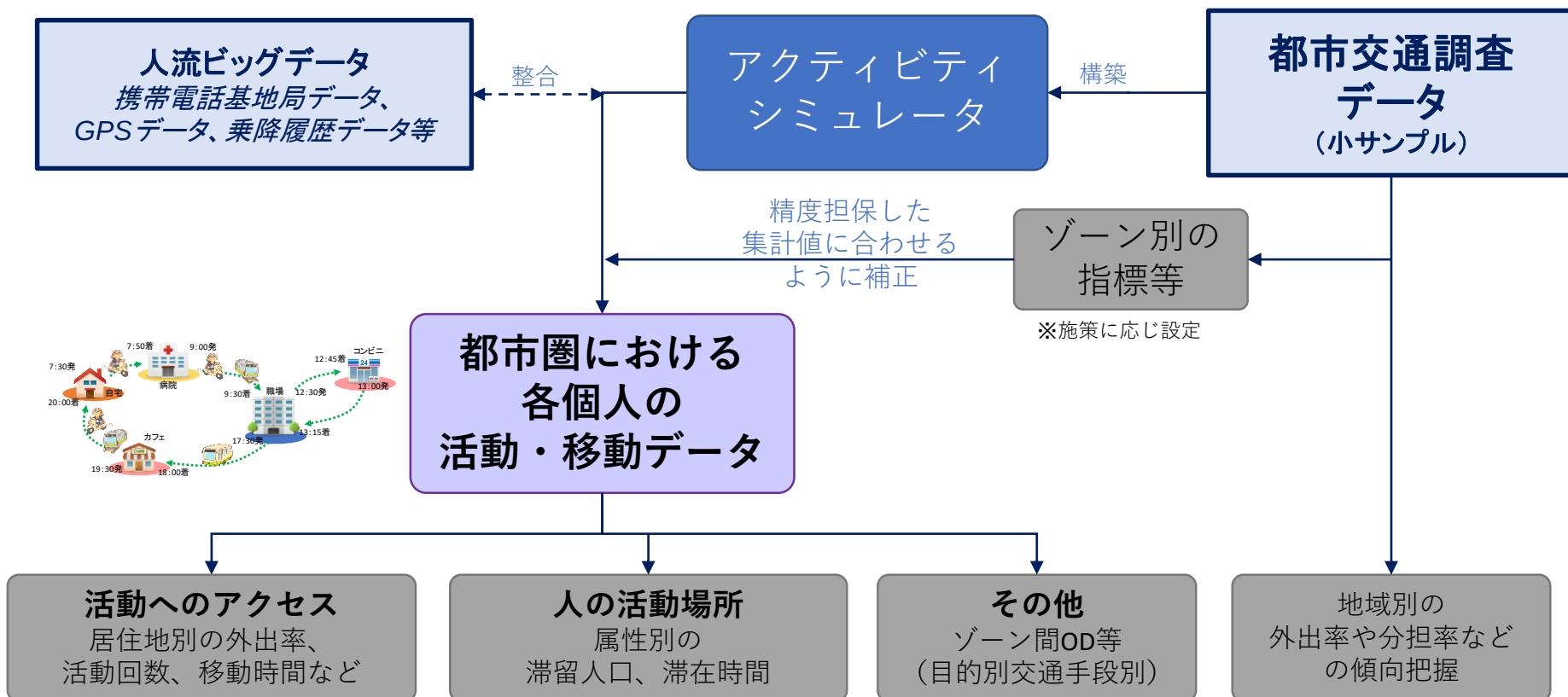
活用目的に応じた調査の選択肢を増やす

- 従来の大サンプル調査の効率化を図る観点から、小サンプル調査とビッグデータを用いてシミュレーションモデルを構築し、シミュレーションで人の活動、移動データを生成する手法を開発する。
- 従来からPT調査が行われていない地域におけるデータ活用を促進するため、全国PT調査データを用いて疑似的に人の移動・活動データを生成する手法を開発する。



①都市圏調査データを用いたシミュレーションによるデータ生成

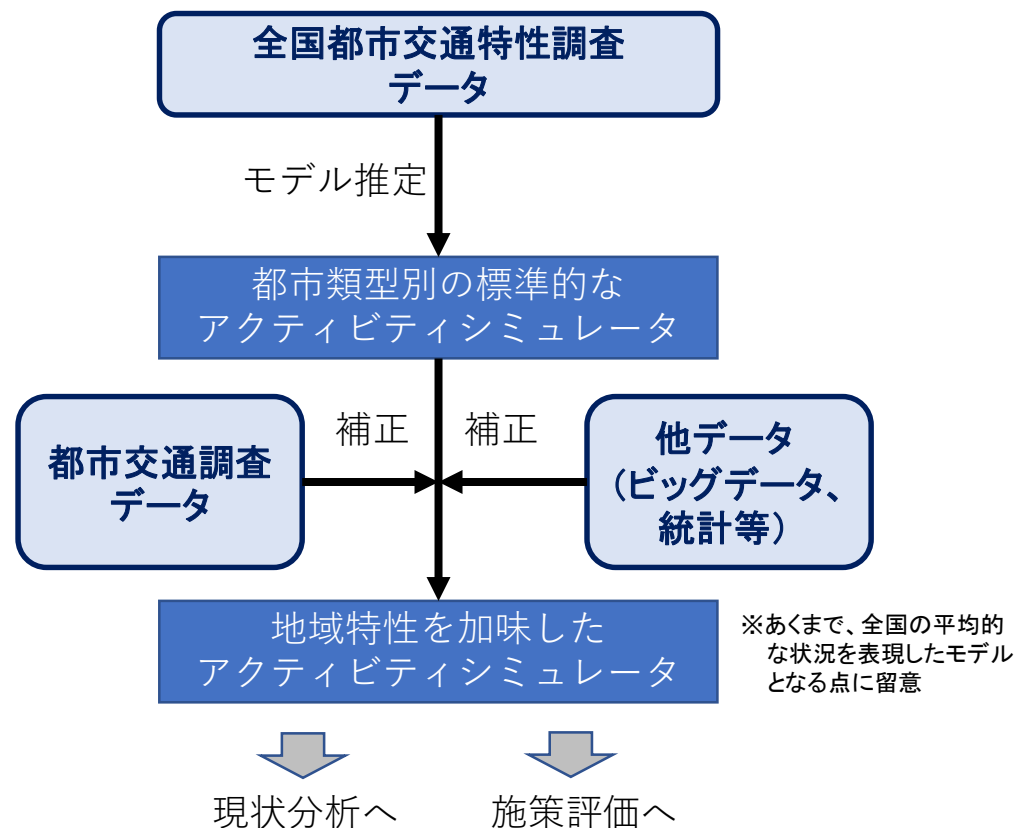
- 小サンプル調査データをもとに、アクティビティシミュレータを構築し各個人の活動・移動データを発生させることで、小サンプルでは把握できない詳細なゾーン別の状況を把握できるようにする。
- 各都市では、モデル構築に必要なサンプル、および、施策に応じて精度担保すべき指標に必要なサンプルを満たすように、調査を実施する。



②全国PTを用いたモデルによる疑似データ生成

- 標準的なアクティビティシミュレータを用意し、各都市では小サンプルの都市交通調査およびビッグデータに合うように補正することで、疑似的な人の活動・移動データを生成する。
- 各都市でのモデル構築の負担軽減が期待できる一方、全国の平均的な活動・移動をもとにした疑似的なデータとなる点に留意が必要となる。
- 標準的なアクティビティシミュレータの開発には、全国PT調査（全国都市交通特性調査）を有効活用する。

■標準モデルの活用イメージ



■参考：全国PT調査の都市類型

都市類型			調査対象都市
1	三大都市圏	中心都市	さいたま市、千葉市、東京区部、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市
2		周辺都市※1	取手市、所沢市、松戸市、稲城市、堺市、奈良市
3		周辺都市※2	青梅市、小田原市、岐阜市、豊橋市、春日井市、津島市、東海市、四日市市、亀山市、近江八幡市、宇治市、豊中市、泉佐野市、明石市
4	地方中核都市圏	中心都市	札幌市、仙台市、広島市、北九州市、福岡市
5		周辺都市	小樽市、千歳市、塩竈市、呉市、大竹市、太宰府市
6	地方中核都市圏 中心都市 40万人以上	中心都市	宇都宮市、金沢市、静岡市、松山市、熊本市、鹿児島市
7		周辺都市	小矢部市、小松市、磐田市、総社市、諫早市、臼杵市
8	地方中核都市圏 中心都市 40万人未満	中心都市	弘前市、盛岡市、郡山市、松江市、徳島市、高知市
9		周辺都市	高崎市、山梨市、海南市、安来市、南国市、浦添市
10	地方中心都市圏 その他の都市	—	湯沢市、伊那市、上越市、長門市、今治市、人吉市

※三大都市圏の周辺都市は、以下の定義で都市類型bとcに分類。

三大都市圏	中心からの距離		
	東京	京阪神	中京
※1 都市類型b	40km 未満	30km 未満	—
※2 都市類型c	40km 以上	30km 以上	全域